

# わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田2211

TEL(0880)33-0247 FAX(0880)33-0518

ホームページ→<https://wakakusaen.holy.jp/>

発行: 福留久美 編集: 小島かをり 田中貴実子



若草園



お餅つき

中村ロータリークラブの皆さんが今年も子どもたちと一緒に餅つきをしてくださいました。今年、卒園していく2人も最後の思い出にそれぞれ思い思いの掛け声をかけながら力いっぱい餅つきを楽しみました。



## 巻頭言



Cホームリーダー  
久保 里奈

寒さの中にも春の訪れを感じるころとなりました。皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。卒業の季節を迎え、今年度は2名の卒園生を送りだす運びとなりました。これもひとえに皆様方の並々ならぬご厚情の賜物だと深く感謝しております。私自身、Cホームに配属されてから6年間共に生活してきた子どもを送り出すことに喜びと一抹のさびしさを感じております。思い出と様々な事がありました。思春期にははげしくぶつかりお互いに傷つき悩む事も多くありました。進路を決める際には何度も話し合いを重ね、一緒に考え抜きました。人間関係につまずき、深く傷ついた姿を見ると胸が痛み、共に悩み、乗り越えられた時には安心すると同時に成長を心から嬉しく思いました。他愛のない話で盛り上がり、食卓を囲む。振り返るとどのような時もたくさん“会話”をしてきたように感じます。楽しい時も、嬉しい時も、悲しい時も、腹が立っている時でも。そんな何気ない日々の営みが幸せであったことを噛み締めながら生活をしている毎日です。成人したとはいえ、まだまだ未成熟な18歳。希望と不安を抱え、それでも社会に出ていく。彼らの未来が幸せであることを願いつつ、疲れた時に帰る場所であることを伝えつつ、残された日々を“会話”を楽しみながら過ごしたいと思っております。最後になりましたが、皆様のさらなるご多幸を心よりお祈りいたしますと共に、今後も子ども達に変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 子育て相談窓口

児童家庭支援センター  
わかくさ  
電話 (0880)  
31-0311

受付時間  
9:00~17:00  
緊急の場合は何時でも  
対応します

☆お気軽にお電話下さい!



# まど 若草園の様子

具同ホームでは、クリスマス前にリースを作って飾りました。とっても素敵☆



**クリスマス礼拝・祝会**  
いつものホームとは違うメンバーでそれぞれ楽しくごちそうを囲みました。子どもと職員による出し物も、今年は3組が披露してくれ、とても楽しい雰囲気の中、大盛り上がりでした。



いつもダンスを教えてくれている職員とのダンスバトル！！

マジックショー



それぞれ、子どもと大人が一緒になって練習してきた成果を披露してくれました。

すご〜い！！



ピアノとギターの演奏に聴き入ってしまいました。



中村栄光教会牧師さんによる、クリスマスの礼拝が行われました。

楽しい時間をありがとう〜😊



この年末年始、たくさんの方々からたくさんのプレゼントやご寄付をいただきました。ケーキやお菓子里に果物、お節料理に畑で採れた野菜など、ほんとうにたくさん思いを寄せていただきありがとうございました。クリスマス祝会には、子どもたちが楽しみに待っているサンタさんより一足先に、今年もドテラジャパンさんが子どもたちへクリスマスプレゼントを渡しに来てくださいました。



ミカンをたくさんいただいたので、100%ジュースにして美味しくいただきました。



## 源 平 台 戦



～ 毎年恒例 ～

百人一首の源平台戦、ばら戦を行いました。それぞれ札とにらめっこ！



終わった後はあたたかいぜんざいをいただきました。



## 校長先生と対決！！



近年、若草園では卓球が流行！この日はいつものように卓球に汗を流す子どもたちにまぎって、中学校の校長先生と真剣勝負！

## ホーム旅行



Aホーム リーダー 田野 ひなり

12月28日から29日に掛けてAホーム全員で香川県に旅行に行つて参りました。初日は紫雲山という標高352mの山に登りました。そこから見える海や島々の美しい景色に子ども達も感嘆の声をもらしておりました。宿泊先ではバイキング形式の食事で香川県の名産品をたくさんいただきました。最終日にはレオマワールドも満喫しました。1泊2日あつという間の旅行でしたが楽しい思い出がたくさん作ることができました。皆様のご支援のおかげです。本当にありがとうございます。



## 具同ホーム活動



焚火には癒しの効果があるそうです。

## 読もっか 高知新聞に掲載された作文を紹介します

がんばって歌った  
音楽祭がありました。私たちはプログラム7番目でした。6番目になると、リコーダーを持って、ぶ台の近くでまわりました。後ろをむくとたくさんのお客さんがいました。すごくだキドキしました。「プログラム7番、下田小学校」とアナウンスが流れました。ぶ台に上がって「世界中のまだ見ぬ友へ」を歌いました。みんなに伝わるように歌いました。きんちようしてあまり声がでませんでした。が、がんばって歌いました。  
合そうは映画「インディ・ジョーンズ」の「レイダースマーチ」です。ドキドキして、「ましがえたらどうしよう」と思いましたが、最後までがんばりました。私は、せいこうしたと思います。

4年 S記者







## BS活動

ボーイスカウト



今年久しぶりに久万スキーランドへBS活動に行ってきました。長年お世話になっている矢野川先生が今年も教えて下さり、初めて参加の子どもも何回もチャレンジして滑れる楽しさを味わいました。もう何度か参加している男の子は、初めて参加する職員にスキーブーツの履き方を教えてくれたりと、頼もしく優しい姿を見せてくれました。



四万十市でも雪が積もり、子どもたちは大喜びでした。



## 若草園の年末年始

年末年始、子どもたちは各ホームでゆっくりと過ごしました。なかには家族や親戚のもとへ帰省したり、里親さんのお宅や職員の実家などへ泊まりに行つて過ごす子どももいました。

お正月、数多く届く年賀状の中に、卒園生からの「結婚しました。」というきれいな花嫁姿が写つた年賀状がありました。昨年行われた結婚式には、元担当だった職員たちも招待されていました。こうして卒園した今でも連絡をくれる事が、とても嬉しく思います。

2年前に卒園した子どもたちも、地元での成人式に参加するために帰ってきていました。園へ顔を見せに来てくれた子もいて、社会人として成長した姿に、出迎えた職員の顔も自然とほころんでいました。龍馬マラソンのランナーの方にお願ひした、虐待予防の輪を願つたステッカーの袋詰作業を年末に行つた際には、ちょうど帰省してきていた卒園生が手伝ってくれました。当時のお弁当の話など、懐かしい話をしながら一緒に作業をしたことですが、20年近くたった今も、こうして顔を見せに来てくれることが何より嬉しいです。



卒園や退園をし、若草園を離れていった子どもたちの中には、もう何年も連絡がとれなかったり、会っていない子どももいますが、それぞれの場所で元気でいてくれることを改めて願つた年末年始でした。

編集後記

「新しい社会的養育ビジョン」が出て養護施設は小規模化、高機能化、多機能化を求められ、家庭養育優先原則の下に、これまで以上に専門的で幅広い支援が求められている。

先日の日本キリスト教児童福祉連盟の研修会の中で永年に渡つて福祉教育に携わつてこられた遠藤久江氏が講演の中で、国の大きな潮流には巻き込まれず、各施設には理念がありその理念を実現していく事が大事。理念を実現するには、常に伝えていかなければ血となり肉とならない。捉え方はそれぞれ違い日常的に努力がなければできない。と仰つていました。若草園でも小規模化多機能化と、これから見据えた事業展開を進めていく所ではあるが、同時に私達の目指すところは理念を実現する事ではないだろうか。今一度理念を見返したいと思う。

コロナがら類になったとはいえ、インフルエンザなど感染症が流行つて心配は絶えませんが、子ども達は元気に過ごしております。おしま運営理念

- \* 敬神愛人の精神を基盤にした養育を通して、児童の心身に健全な成長をはかり家庭復帰・社会的自立をめざす。
- \* 地域の子育て支援の充実と、虐待予防、防止等に対応し地域福祉に貢献する。

